

Emergency Watch



神戸こども初期急病センター



2013年8月受診者数：2173人

訴え

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 発熱 | : 1347人 (1035人) |
| 2. 咳 | : 690人 (189人) |
| 3. 鼻汁 | : 464人 (12人) |
| 4. 嘔吐 | : 416人 (148人) |
| 5. 発疹 | : 315人 (215人) |

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

疾患頻度

- | | |
|------------------|--------|
| 1. 急性上気道炎・咽頭炎 | : 915人 |
| 2. 感染性胃腸炎 | : 249人 |
| 3. 手足口病 | : 122人 |
| 4. 気管支喘息・喘息性気管支炎 | : 166人 |
| 5. じんま疹 | : 107人 |

今月のワンポイント！

猛暑の日々から突然、朝夕は涼しい、過ごしやすい季節になりました。学校がはじまり、そろそろ運動会の準備などでお子さんたちも少し疲れ気味かもしれませんね。オリンピックの日本開催も決まり、全国的にスポーツに関心が高まっていますが、急に運動すると体調を崩します。ふだんから適度な運動を心がけたいものです。また、十分に休養と食事を取り、疲れをためないようにしましょう。

さて今月の神戸こども初期急病センターの受診者ですが、先月に比べ2173人とやや減少しました。今年は手足口病が大変流行しました。まだ8月でも100人以上の患者さんが来院されています。全国的にはピークが少し減ってきたようです。夏風邪では頭痛や嘔吐などの症状を伴うこともあり、無菌性髄膜炎といって、ウイルス性の風邪が原因で髄膜炎になる方の頻度も高かったようです。また今月に入り、やはり涼しくなり秋にさしかかったからか、RSウイルスなどの秋冬の感染症が増えてきました。RSウイルス感染症は、今年はずっとより少し早い時期から、多くの患者さんが感染しているようです。大流行するかもしれませんので注意が必要です。RSウイルスは鼻水が多い以外に、ゼイゼイがひどくなったり、特に生後半年以下の小さいお子さんでは呼吸困難を伴ったりすることがあります。大人がかかると軽い風邪程度で、大人から子供への感染が多いようですので、大人がこの感染をブロックするよう、うがい、手洗いを注意することが大切でしょう。RSウイルス感染症ではゼイゼイから気管支喘息を発症したり、鼻汁が長く続き中耳炎を併発したり、肺炎や細気管支炎を合併することも知られており、注意が必要です。食欲は落ちていないか、顔色はどうか、呼吸がはやくて寝苦しそうでないか、せき込みによる嘔吐などの症状がないか、お子さんの状態をしっかりと観察しましょう。おうちでは、鼻水を吸ってあげたり、体を起こして呼吸を楽になるような体勢を取ってあげたり、水分をこまめにあげたりしましょう。RSウイルス感染症には今のところ特効薬がありません。かからないように予防することが大切です。特に半年以下のお子さんでは早めに小児科を受診しアドバイスを受けるようにしましょう。

